



- 就業規則の意見書や36協定の締結の際に、労働者の過半数代表を選定しなければなりません。この際の過半数とは「労働者」の過半数になりますので、会社と雇用契約を締結し、労働者として働いている管理職やパート社員も含まれます。労働基準法の世界では、「どこまで」の範囲が分かりにくいので注意が必要です。

就業規則は周知しないと効果は発揮されません

就業規則とは…

- 就業規則は会社側が定める社内のルールブックであり、作成や届出、周知などが法律で義務づけられている重要な存在です。
- 就業規則に記載する内容は、必ず明記する事項(絶対的記載事項)と会社に制度があれば必ず明記する事項(相対的記載事項)があります。

常時10人以上の労働者を使用する使用者は、行政官庁に作成・届出が必要です

	A事業場	B事業場	C事業場
正社員	10人	5人	2人
パート	5人	5人	1人

作成義務あり
作成義務あり
作成義務なし

就業規則は周知しないと効果は発揮されません

- 就業規則は作っただけでは十分ではありません。(1)10人以上の労働者のいる事業場は届出義務があり、(2)従業員に対しても周知義務があります。
- 就業規則は周知しなければ効果を発揮しません。「提出を忘れたが周知をした」場合は就業規則は有効。「提出をしたが周知はしなかった」場合は就業規則は無効という判例もあります。

就業規則は日々更新・メンテナンスが必要です

- ・ 携帯電話の浸透により、「みなし労働時間」が認められにくくなっている。
- ・ セキュリティーや個人情報保護など大きな問題ではなかった。
- ・ 昭和の時代には考えられにくかった、「うつ病」になる社員が増加している。
- ・ スマートフォンの普及による、SNS中毒、スマホ中毒者が増えてくる。
- ・ “バイトテロ”と称される、アルバイトによる店舗内での悪ふざけ写真がTwitter等で投稿される。



- 就業規則は「作っておしまい」ではありません。時代の流れに沿って就業規則を改訂することも必要ですが、会社で発生した問題も随時就業規則に反映していきましょう。
- 10人未満の場合、作成・届出義務はありませんが、作成・提出が禁止ではありません。可能であれば人数が少なくても、就業規則を作成しておきましょう。



～ 法改正等のお知らせ ～

平成30年度(2018年度)の子ども・子育て拠出金率が改定されました。

□ 拠出金率が平成29年度の1,000分の2.3から平成30年度は1,000分の2.9に引き上げられました。

□ 子ども・子育て拠出金とは・・・。

- 厚生年金保険の適用事業所の事業主が、厚生年金保険に加入している従業員全員分の厚生年金保険料とともに毎月負担している拠出金です。
- 厚生年金保険料は会社と被保険者とは折半負担ですが、子ども・子育て拠出金は全額事業主負担となります。厚生年金被保険者であれば、その人に実際に子供がいるかないか、被保険者の年齢・性別によらず、標準報酬月額・標準賞与額に拠出金率を掛けて算出される拠出金が算出され、事業主が全額負担する必要があります。
- 3歳未満の児童に係る児童手当の額に係る部分については、社会全体で子育て支援にかかる費用を負担するという考えで、子ども・子育て支援法の規定により政府が一般事業主から拠出金を徴収することとしています。(子ども・子育て支援法69条1項)



□ この拠出金は「児童手当」の財源の他、一般の保育所の整備の財源にも利用されます。前回の衆議院選挙で幼児教育や保育の無償化を自民党は公約を掲げたのですが、消費税増税分だけでは足りず、こちらの増額で原資を確保するものと考えられます。

～ 今月のおすすめ ～

豚肉とアボカドのカレー炒め

【50文字で言うと・・・】

塩を振った豚肉を炒め、調味料を入れ混ぜ合わせ、アボカドを加えて炒めれば出来上がり！

【材料】

豚肉 180g
アボカド 1個
しめじ 1袋
にんにく 1片

【調味料】

カレー粉 小さじ2
砂糖 小さじ1
醤油 大さじ1
ウスターソース 大さじ1 酒 大さじ2
トマトケチャップ大さじ1 塩 少々



ビール好き女子担当
のゆるゆるちよっ
おつまみ。

【もうちょっと詳しく】

- ①豚肉を一口大に切り、塩を振る
- ②しめじを小房ずつに分け、にんにくをみじん切りにし、アボカドを一口大に切る
- ⑤フライパンで豚肉を炒める
- ⑥にんにくを軽く炒めてにおいが出てきたらしめじを入れる
- ⑦炒めて油が回ったらふたを閉める
- ⑧調味料を混ぜる
- ⑨ふたを開け、混ぜ合わせた調味料をかけ、調味料がなじんだらアボカドを加えて炒めて煮詰める

★おすすめ書籍のご紹介★

「フィードバック入門
耳の痛いことを伝えて
部下と職場を立て直す技術」
中原 淳 著

著者は人材育成のためにはフィードバックが欠かせないとしています。確かに、自分が行った業務結果が実際どうだったのか、部下の立場からすれば非常に気になるものですし、結果を知ったことによってモチベーションがまったく変わることを私自身実感しています。

ところが世の中では「パワハラになるかも」という過剰な警戒心や「コーチングで気付かせてこそナンボ」というテクニックばかりが重視され、ただ単に伝えるということができていないのでは？と感じています。

本書にはまさに、耳の痛いことをいかに伝えて、部下に成長を促すか、その具体的な手法とヒントがたくさん記載されていて、なるほど！と納得させられます。部下との接し方や仕事のさせ方に日々迷いが生じている、経営者を含むすべてのマネージャーのみなさんに読んですぐ役立つおすすめの一冊です。



気付き日報



社会保険労務士法人アイプラス
代表社員 社会保険労務士 今井洋一

TEL : 03-3791-1181 FAX : 03-6674-2508 Mail : info@sr-plus.co.jp

受付時間 9:30～18:00 (土日祝日および弊社休日を除く)

http://sr-plus.co.jp/

いかがでしょうか？引き続き、定期的に参考になりそうな情報をお届けさせていただければ幸いです。
もし、ご不要な場合は配信停止を致しますので、ご連絡ください。